

第 103 回規格会議の結果

3月24日（金）に、第103回規格会議が東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催されました。

今回は標準規格の改定8件、技術資料の改定7件が提案のとおり決議されました。

本規格会議において決議された議案の概要は以下のとおりです。



第 103 回規格会議の様子

第 103 回規格会議 標準規格及び技術資料の改定の概要

No.	規格番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T63 Ver.12.30	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD	本標準規格は、いわゆる第3世代携帯電話システムである IMT-2000 システムに関する標準規格の内の IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第102回規格会議（平成28年12月開催）において平成28年9月までに3GPPが更新したリリース8からリリース13までの標準規格を基に Ver.12.20 へ改定された。

No.	規格番号	規格名等	概要
			今回の改定は、その後平成 28 年 12 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの標準規格を反映するものである。
2	ARIB TR-T12 Ver.12.30	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、いわゆる第 3 世代携帯電話システムである IMT-2000 システムに関する標準規格の内の IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 102 回規格会議(平成 28 年 12 月開催)において平成 28 年 9 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの技術資料を基に Ver.12.20 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成 28 年 12 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 13 までの技術資料を反映するものである。</p>
3	ARIB STD-T104 Ver.4.30	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced システムに関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced システムに関するものであり、第 102 回規格会議(平成 28 年 12 月開催)において平成 28 年 9 月までに 3GPP が更新したリリース 10 からリリース 13 までの標準規格を基に Ver.4.20 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成 28 年 12 月までに 3GPP が更新したリリース 10 からリリース 13 までの標準規格を反映するものである。</p>
4	ARIB TR-T19 Ver.4.30	LTE-Advanced System ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced システムに関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced システムに関するものであり、第 102 回規格会議(平成 28 年 12 月開催)において平成 28 年 9 月までに 3GPP が更新したリリース 10 からリリース 13 までの技術資料を基に、Ver.4.20 として新たに策定された。</p> <p>今回の改定は、その後平成 28 年 12 月までに 3GPP が更新したリリース 10 からリリース 13 までの技術資料を反映するものである。</p>
5	ARIB STD-T111 1.1 版	79GHz 帯高分解能 レーダー標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 2 号に基づく特定小電力無線局のうち無線標定業務を行う 無線設備に関するものであり、車両から歩行者や自転車等の小さな対象物を高分解能で検知する 79GHz 帯 高分解能レーダーについて規定したものである。</p> <p>今回の改定は、2015 年 11 月に開催された世界無線通信会議(WRC-15)における議題 1.18 「79GHz 帯における無線標定業務への一次分配」の審議結果を受け、総務省が実施した 79GHz 帯 高分解能レーダーに使用する周波数の拡大に係る制度整備に対応し、所要の改定を行なうものであ</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			る。具体的には、78.0GHz から 81.0GHz であった指定周波数帯を 77.0GHz から 81.0GHz までに拡張するものである。
6	ARIB STD-B10 5.10 版	デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送の番組配列情報の構成、データ構造及び識別子の運用基準について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、(一社) 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) からの申請に基づき、高度広帯域衛星デジタル放送で使用される限定受信方式の識別子が新たに割当られたことに伴い、これを追記するとともに、誤記の訂正及び参考文献の更新を行うものである。</p>
7	ARIB STD-B60 1.9 版	デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における MMT による映像、音声、データ等のトランスポート方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、(一社) 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) からの申請に基づき、高度広帯域衛星デジタル放送で使用される限定受信方式の識別子が新たに割当られたことに伴い、これを追記するとともに、参照先の変更及び誤記を訂正するものである。</p>
8	ARIB STD-B61 1.3 版	デジタル放送におけるアクセス制御方式 (第 2 世代) 及び CAS プログラムのダウンロード方式標準規格	<p>本標準規格は、11.7GHz～12.2GHz の周波数帯の衛星基幹放送局が行う超高精細度テレビジョン放送等、並びに 12.2GHz～12.75GHz の周波数帯の衛星基幹放送局が行う帯域幅 34.5MHz の超高精細度テレビジョン放送等に適用する「デジタル放送における第 2 世代のアクセス制御方式」及び「CAS プログラムのダウンロード方式」を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、アクセス制御方式(第 2 世代)のうち限定受信方式に関して、EMM 個別メッセージのメッセージコード領域等の明確化を行う他、誤記訂正を行うものである。</p> <p>CAS : Conditional Access System EMM : Entitlement Management Message</p>
9	ARIB TR-B15 7.3 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域 CS デジタル放送の放送局での運用並びに BS デジタル放送受信機及び BS・広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、BS 委託放送事業者 (株) BS ジャパンの HDTV サービスと SDTV サービスのマルチ編成放送導入に伴い衛星基幹放送業務認定証が変更 (2016 年 10 月) されたことから、事業者毎スロット割り当て一覧表におけるサービス内容の変更を行うものである。</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
10	ARIB TR-B38 1.1 版	VHF-Low 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料	<p>本技術資料標準規格は、99MHz を超え 108MHz 以下の周波数の電波（VHF-Low 帯）を使用する地上基幹放送局を用いて行うセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送（以下、V-Low マルチメディア放送）についての運用を規定するものであり、V-Low マルチメディア放送の円滑な運用に資することを目的とした技術資料ものである。</p> <p>今回の改定は、移動体環境下における受信率向上のためのパラメータとして運用時間インターリーブ長 I=8 の追加、防災・安全情報を確実に受信させるための伝送方法の追加、チャンネル数増加時の帯域有効利用のための再送周期の変更及び認定基幹放送事業者の追加である。</p>
11	ARIB TR-B39 1.3 版	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用および受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の改定は、将来を見据えた高度広帯域 CS デジタル放送の最大サービス数見直しに伴う改定、セキュリティ通信時の受信機表示の明確化、自動表示メッセージの即時表示に関する明確化、MPU タイムスタンプの運用に関する明確化等である。</p> <p>MPU : Media Processing Unit</p>
12	ARIB STD-B69 1.1 版	デジタルテレビジョン放送におけるデジタル字幕ファイル交換フォーマット（第 2 世代）標準規格	<p>本標準規格は、STD-B62「デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式（第 2 世代）」で規定される字幕放送方式に対応した字幕ファイルの交換フォーマットについて規定するものである。</p> <p>今回の改定は、ARIB-TTML 字幕の望ましい記述例や HDTV へのダウンコンバートを考慮した字幕表示領域を示すことで字幕ファイルの交換をより確実にするために行うものである。</p>
13	ARIB TR-B30 1.3 版	5.1ch サラウンド番組の制作技術ガイドライン技術資料	<p>本技術資料は、5.1ch サラウンドサウンド番組制作についての技術要件について策定されたものである。</p> <p>今回の改定は、モニタースピーカの再生レベルの調整法の適正化を図るものである。日常行う騒音計を用いたオールパス値の調整法と、オクターブバンド分析器を用いた厳密なバンドレベルの調整法の関係を明確化するとともに、モニタースピーカの再生レベルを測定するときの測定マイクロホンの設置向きの適正化を行った。</p> <p>なお、今回の改定により、三次元マルチチャンネル音響方式スタジオ規格の再生レベル調整手法及びマイクロホン設置手法と同様となった。この</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			他、誤植の修正や関連文書の追加を行った。
14	ARIB TR-B37 1.1 版	超高精細度テレビ ジョン方式カメラ・ レンズ機器の相互接 続技術資料	<p>本技術資料は、超高精細度テレビジョン(UHDTV)方式のカメラとレンズ機器の相互接続についてガイドラインを示すものである。</p> <p>スーパー35mm8K センサー、1.25 型 8K センサー及び 2/3 型 4K センサーそれぞれの対応するカメラとレンズを接続するための光学系、電気系およびメカニカルインタフェースについて適用する。</p> <p>今回の改定は、スーパー35mm8K センサーのメカニカルインタフェースについて、レンズおよびカメラ側のマウントの詳細仕様が明確になったため、図面を追加するものである。レンズ側マウントについては前面図および側面図を追加し、カメラ側マウントについては全体構成と構成部品である位置決めピン、マウントレバー、ねじ込みフランジおよびバヨネットリングについて追加する。またカメラ内部の不可侵領域の図面についても併せて追加する。</p>
15	ARIB STD-B43 2.0 版	テレビジョン放送番 組素材伝送用可搬形 ミリ波帯デジタル無 線伝送システム標準 規格	<p>本標準規格はテレビジョン放送番組素材伝送用の可搬形無線伝送機器である FPU のうち 42GHz 帯及び 55GHz 帯を使用するミリ波帯デジタル無線伝送システムについて規定するものである。</p> <p>今回の改定は、125MHz システムにおいて、入力信号の分割と並列処理による高速化やフルモードへの MIMO-OFDM 方式の導入等によって、4K・8K 放送番組素材の伝送を可能とするもので、最大ビットレート等の技術仕様に関連する事項の変更及びメーカー間互換性規定に関連する事項の変更を行うほか、回線設計例に関連する事項の追記を行うものである。</p> <p>FPU : Field Pick-up Unit OFDM : Orthogonal Frequency Division Multiplexing MIMO : Multiple-Input Multiple-Output</p>

第 250 回技術委員会(放送分野)を開催

第 250 回技術委員会（放送分野）を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時： 平成 29 年 3 月 22 日（水）午後 3 時 30 分から午後 4 時 50 分まで

2 場所： 当会 第 2 議室

3 議事概要：

- (1) スタジオ設備開発部会の活動報告について
同部会の小島副委員長から、活動状況の報告と 2 年間の会期延長の提案があり、質疑応答が行われた。
- (2) スタジオ設備開発部会設置要綱の改正について
(1)項を受けて設置要綱改正案についての説明あり、承認された。
- (3) 素材伝送開発部会の活動報告について
同部会の大西委員長から、活動状況の報告と 2 年間の会期延長の提案があった。
- (4) 素材伝送開発部会設置要綱の改正について
(3)項を受けて設置要綱改正案についての説明があり、承認された。
- (5) フィリピン・デジタルテレビサミット 2017 の結果について
- (6) タイ 4K・8K テレビ放送・制作機器ワークショップの結果について
- (7) 日ニカラグア地デジ共同作業部会 第 2 回会合等の結果について
- (8) 第 103 回規格会議の開催について
- (9) その他
前回第 248 回の議事録に関連して、事務局より電波利用懇話会等の有料化についての説明があり、資料のみ入手したい場合の扱いや、金額についての質疑応答が交わされた。

今週の ARIB 内会合（3 月 27 日～3 月 31 日）

3 月 28 日（火） スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班

3 月 29 日（水） 高度無線通信研究委員会 モバイルコマース部会 推進専門委員会
モバイルコマース分科会

3 月 30 日（木） 電磁環境委員会 広報部会 第 34 回書籍 WG

今週の国際会合（3 月 27 日～3 月 31 日）

3 月 27 日（月） エルサルバドル コト電気通信監督庁長官との会合（総務省）

3 月 28 日（火） 日比共同作業部会（第 10 回）（フィリピン・マニラ）

3 月 30 日（木）～31 日（金） 中米地デジセミナー（コスタリカ・サンホセ）

国家戦略特別区域（関西圏）に係る特定実験試験局として使用可能な
周波数の範囲等を定める告示の一部改正案に係る意見募集

【平成 29 年 3 月 17 日発表】

総務省は、電波法施行規則（昭和 25 年電波監理委員会規則第 14 号）第 7 条第 5 号の規定に基づき公示されている特定実験試験局について、国家戦略特別区域である関西圏の区域において、電波を活用した実証実験や技術開発等を促進するため、特定実験試験局として使用可能な新たな周波数を追加することとし、告示案を作成しました。

本告示案について、平成 29 年 3 月 18 日（土）から同年 4 月 17 日（月）までの間、意見募集が行われています。

詳細については [【平成 29 年 3 月 17 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

陸上無線通信委員会 報告（案）に対する意見募集
－公共ブロードバンド移動通信システムの高度化に関する技術的条件－

【平成 29 年 3 月 17 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査：安藤 真 東京工業大学 理事・副学長（研究担当） 産学連携推進本部長）は、平成 28 年 12 月から「公共ブロードバンド移動通信システムの高度化に関する技術的条件」について検討を行ってきました。

このたび、陸上無線通信委員会報告（案）を取りまとめましたので、平成 29 年 3 月 18 日（土）から同年 4 月 17 日（月）までの間、意見募集が行われています。

詳細については [【平成 29 年 3 月 17 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

新世代モバイル通信システム委員会 報告（案）に対する意見募集
－eMTC 及び NB-IoT 導入に向けた技術的条件－

【平成 29 年 3 月 17 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 新世代モバイル通信システム委員会（主査：森川 博之 東京大学 先端科学技術研究センター 教授）は、IoT 時代に対応した新たな無線システムの早期実現に向けて、新世代のモバイル通信システムに関する検討を行っています。

このたび、携帯電話システムをベースに省電力、ワイドカバレッジを実現する eMTC 及び NB-IoT※の導入に向けた技術的条件に関する委員会報告（案）を取りまとめましたので、平成 29 年 3 月 18 日（土）から同年 4 月 17 日（月）までの間、意見募集が行われています。

※eMTC: enhanced Machine Type Communication,

NB-IoT: Narrow Band Internet of Things

詳細については [【平成 29 年 3 月 17 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp